

**2022/12/18**

**参加者の**

**感　想**

**まっとうな入管･移民政策を**

**調布｢憲法ひろば｣例会のご案内**

**第１８５回**

**憲法ひろば**

第**212**号（２面）**2022年12月24日**

**発行:調布九条の会「憲法ひろば」**

**E-Mail：chofu9jou@yahoo.co.jp　WEBサイトhttp://www.geocities.jp/chofu9jou/index.html**



**▼まずは「在留資格」を**

　素晴らしい講演でした。｢多文化共生社会はすでに始まっている｣ことを感じさせられました。まずは｢在留資格｣（アムネスティ）を、という主張が国会で通りますように。｢国家と移民｣（＊）を読みます。（深大寺北町・佐藤定夫）

　＊集英社新書・鳥井一平著

**▼懸命の活動に感動しました**

　入管法のことをよく知らないので勉強したいです。技能実習生のこと、実態もよくわかりました。恥ずかしい日本ですが、きょうの講師のように一生懸命活動される素晴らしい方が居らして、感動しました。ありがとうございました。

　（下石原・進藤玲子）

**▼難民支援をしています**

 現在、難民申請中の方の支援をさせてもらっています。本日のお話で、方向性が見出され勇気が出ました。私たちが彼らから教えられることが沢山あります。共生社会を目指し一緒に努力します。とても良かったです。一歩一歩広げていきます。

　（富士見町・河上初恵）

**▼運動に参加する方法は？**

 これから多民族、多文化共生社会でなければならないと抽象的に理解していましたが、入管問題に具体的にあらわれていることがわかりました。「よりよい共生社会」への運動に参加する方法がありますか？

　　　（布田・河野良彦）

**▼入管の体質改善はどうすれば？**

　多民族・多文化共生というタイトルに惹かれて参加しました。一言ももらすまいと前の席に座りましたが、講師のあり余る熱意からか盛り沢山の内容、その上早い速度で話されるのでついていくのが大変でした。

　２０１９年４月に入管法の改正が行われた理由だけはよくわかりました。新しい在留資格「特定技能」が創設されたこと。 創設された理由は、日本の人口減少と深刻な人手不足を解消するため、 外国人受入れの政策を拡大することで人手不足を解消しようとの狙いがあったことだけはしっかり伝わってきました。

　しかしそのための受け入れ体制が不備で、隙間だらけの入管法の下で、企業や雇用主の意のまま劣悪な環境のなかで低賃金(３００円と信じ難い話…)という現状は許されるものではなく、その監視体制を強化しなくてはならないこと、人手不足や労働・雇用の問題と、外国人受入れに関する施策は密接に関係しているとのご指摘、とても納得できました。

　まずは共生できる環境を企業や雇用主がつくっていくことが大切とのお話、共感しました。また宮崎の椎葉町で労使対等７原則が設けられて、それを宮崎日日新聞が報道したとのことも、とても救われました。

　私個人としては、もう

少し的を絞ってほしかった。例えばスリランカのウィシュマさん死亡事件を例に入管の人権侵害の問題点、どうすれば入管の体質改善につながるとか、共生のための必須条件であり権利である外国人参政権についても触れていただきたかったです。

　　　（国領町・呉文子）

**▼根っこに近代日本の植民地主義が**

　ウィシュマさんの信じられないような不幸な事件から、入管の問題への関心が高まったが、実はその背後に日本の外国人労働者・移民・難民についての政策に関する長年にわたる悪弊が積み重なっていることを、深く関連づけて知ることができた。しかも鳥井さんの長年にわたる闘いで積み上げてきた具体的な事例をもとに話してくださったので、問題のありかを深く理解することができた。

　この問題の根っこには近代日本の朝鮮をはじめとするアジアへの植民地支配と占領支配によって日本人の意識に深く刷り込まれていったアジア蔑視があると思う。敗戦後の日本でもなお続いた在日朝鮮人に対する敵視と差別的処遇にもそれがよくあらわれている。日本はまだ植民地主義への反省と克服ができていないのである。

　それともかかわってもう一つ注目しておきたいのは、人身売買、奴隷労働ともいわれる今の外国人労働者への処遇について、国連人権理事会をはじめとする国連の諸機関から日本政府に対し繰り返し批判と是正勧告が行われていることである。いま日本政府がやっていることは、国際的に通用しないレベルにあることを私たちも認識しておくべきだ。

（西つつじが丘・石山久男）

**第１８６回（1月）例会　 参加費300円**

**戦争する日本にさせないために**

**大軍拡と９条改憲を考える**

**お話：末浪 靖司さん**

**ジャーナリスト、調布市在住**

**日時:２０２３年１月８日(日)13:30～**

**場所:たづくり1001学習室**

**第１８７回（２月）例会　参加費300円**

**ウクライナ戦争時代に考える**

**｢靖国神社｣と｢市ヶ谷記念館｣**

**お話：長谷川順一さん＆春日恒男さん**

**「防衛省・市ヶ谷記念館を考える会」共同代表**

**長谷川さん:元新宿区議､東京の戦争遺跡を歩く**

**会主宰､春日さん:元高校教員､文化資源学研究者**

**日時:２０２３年２月１８日(土)13:30～**

**場所:あくろすホール１**

**第１８８回（３月）例会　参加費300円**

**地方自治とは何か（仮題）**

**杉並区長選から学ぶ**

**お話：内田 聖子さん**

**ＮＰＯ法人アジア太平洋資料センター共同代表**

**日時:２０２３年３月１８日(土)13:30～**

**場所:たづくり9階｢研修室｣**